

平成 22 年度 新学術領域研究（研究領域提案型） 審査結果の所見

研究領域名	性差構築の分子基盤
領域代表者	諸橋 憲一郎（九州大学・大学院医学研究院・教授）
研究期間	平成 22 年度～平成 26 年度
科学研究費補助金審査部会における所見	<p>性の決定機構については、近年の研究により複数の動物種における性決定遺伝子が同定されたが、形態や機能に見られる雌雄の違いが形成される仕組みの理解にはまだ至っていない。本研究領域は、遺伝的制御と内分泌制御の相互作用を性差構築の基盤とする新しい考え方に立脚し、網羅的解析によって、その実体がクロマチン構造および性特異的エンハンサーの性差にあることを明らかにしようとする非常に重要な研究領域である。焦点が絞られた性依存的組織構築の分子機構解析を加えた各研究計画は十分に練られており、次世代シーケンサー・マイクロアレイ解析・ゲノム情報解析・遺伝子改変動物の作成などの手法およびその実施の分担も妥当である。研究組織も堅実・妥当で、研究成果が期待できる。遺伝的制御と内分泌制御のバランスによる雌雄の形成という概念は、他の生物学的医学的現象の理解にも適用できる可能性があり、基礎生物学および医学への波及効果も期待できる。</p>